

## ●社会性報告

# 株主・投資家とのかかわり

荒川化学グループは、IR・広報活動を通じ、株主や投資家の皆様からのご理解、ご信頼にお応えできるように努め、企業価値の持続的な向上を目指しています。

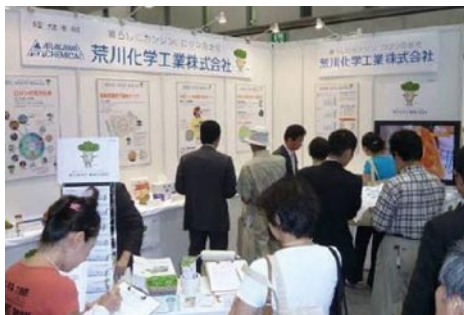
## IR活動

中間・通期決算発表後には、アナリストや機関投資家向け説明会を開催するなど、積極的なIR活動を行っています。社長自らが事業内容や経営概況、今後の展望について説明するほか、参加していただいた皆様からのご質問にお答えしています。

また、個人投資家の皆様に向けては当社の事業内容へのご理解を深めていただくために、2008年度は「日経IRフェア」に初出展しました。荒川化学グループの製品が日常生活のどのような所で使われているかを展示物で示し、社員が具体的に説明しています。



決算説明会風景



「日経IRフェア2008」展示風景(初出展)

## 広報活動

株主や投資家の方を対象とした、さまざまな資料を提供しています。ホームページでは、決算短信をはじめとする適時開示資料、報告書、有価証券報告書、決算説明会資料を情報開示後に速やかに掲載しています。

また、荒川化学グループを幅広く一般の皆様にもご理解いただくために、当社と馴染みの深い松をモチーフとしたキャラクター「マツタロウ」を通じて、新聞・雑誌やテレビCMなどでの広告活動も展開しています。



ホームページでの情報提供例 <http://www.arakawachem.co.jp/>



キャラクター「マツタロウ」のノベルティグッズ(クリアファイル、鉛、エコバッグなど)

## VOICE

日経IRフェアで、当社製品が日常生活のどんなところで使用されているのかを紹介しました。心がけたのは、化学になじみのない一般の方々に専門用語を使わないことです。日常的に接している新聞や雑誌を題材に、紙とインキの両方に当社のロジン製品が使用されていること、そして、ロジン製品が印刷物を鮮明に見せるために重要な役割を果たしていることなどを説明しました。展示ブースは終日盛況で、一日中説明し続けるのは大変でしたが、このような取り組みを通じ、多くの方に当社のことを知っていただけたと思います。



経営企画室  
近田 雅明

## ステークホルダーへの貢献

当社グループでは、全てのステークホルダーから信頼される企業となるため、顧客ニーズや社会の変化に迅速な対応が可能となる経営・事業基盤の構築を第2次中期5ヵ年経営計画の基本方針に掲げ、グループ最適の経営を目指します。

- コーポレートガバナンス体制の更新・改革による、企業価値の維持・向上を目指します。
- 顧客・原料メーカーと連携したサプライチェーンマネジメント体制の構築を推進します。
- 品質・環境・保安管理システムの構築を推進します。
- 当社グループに適した社会貢献を推進します。